

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 小林 篤史
所属 (School) 工学研究科 物質・化学系専攻
学年 (Grade) 博士前期課程 1年

留学先 (Name of overseas institution)
国立台湾大学、Farglory Hotel
留学期間 (study abroad period)
2019/5/12~2019/5/17

記入日 (Date) 2019/5/22

留学レポート Study Abroad Report

✓ はじめに

私は2019年5月12日~17日に、国際学会(13th Nanodiamond and Nanocarbon conference-NDNC2019)に参加しました。学会初日のレセプションでは、国立台湾大学の見学や台湾大学の先生とディスカッションする機会を与えていただきました。このレポートでは、国際学会への参加、開催地台湾の方との交流などを簡単に報告させていただきます。

✓ 学会参加

私は、Farglory Hotelにて開催されたNDNC2019に参加し、ポスター発表を行いました。この学会は、ダイヤモンドやグラフェンなどカーボンナノ構造の合成や応用に関する学会で、世界各国から200人を超える学生や研究者が参加しました。自身のポスター発表では、ダイヤモンドを専門としている研究者の方と英語でのディスカッションが必要でした。事前に発表の練習は積んでいましたが、本番での緊張や有識者による厳しい質問で上手く話せないシーンも多かったです。しかし、こちらが頑張っただけで伝えようとするだけで拙いながらも自分の意見を理解してもらうことができました。振り返ると、多くの専門家と非常に有意義な時間をすごせたと感じています。大変光栄なことに、よりよかったポスター発表に贈られるPOSTER AWARDでBRONZE賞に選んでいただきました。この賞に恥じないように今後も研究活動をより積極的に進めようと思えた瞬間でした。



(写真左) POSTERAWARD 受賞記念 頭文字 A が独特なフォントで書かれています。

(写真右) 授賞式の様子、大勢の前で緊張しました。

✓ 台湾での国際交流

NDNC2019 の初日に国立台湾大學でのレセプションがありました。レセプションの途中で台湾大學のSHIN 先生の研究室を見学させていただきました。残念ながら研究室周りは撮影禁止だったのと、その日研究室の学生はいませんでした。SHIN 先生にダイヤモンド合成と評価の装置を見学させていただきました。さらに、私が普段行っている実験のアドバイスまでしていただけるなど大変有意義な時間でした。



(写真左) SHIN 先生と私。このときはお互い結構酔っています。

(写真右) 国立台湾大學正門。古風な感じが好み。府大もいつかこんな風になってほしい(?)

最近の私は熱心にバドミントンに取り組んでいるのですが、それが過ぎて現地の人とバドミンントンの試合をしてきました。私と日本の研究員の方とで急に体育館におしかけ戦ってきました。バドミントンが盛んな台湾ということもあり、非常にレベルが高く、とても面白かったです。言葉が上手く通じなくてもバドミントンを通して台湾の方たちと交流することができました。また試合しましょうと約束してきたのでいつか再戦できればと思っています。

学会最終日には、台湾のアボリジニたちが歌と踊りで学会を盛り上げてくれました。台湾に古くから伝わる歌と踊りは圧巻でした。台湾の歴史も感じる事ができたのが思い出に残っています。



(写真左) 試合の様子。独特な雰囲気非常に難しかったです。

(写真右) アボリジニたち。素敵な歌と踊りでした。

✓ さいごに

海外経験の乏しい私には、常に刺激的な日々でした。学業、プライベートともに充実した時間を過ごせたことに感謝しています。海外の方と交流することで、海外のすごいところ見習うべきところを知ることができました。そこから日本の良さが分かったこともあります。国際学会は国内の学会と異なり、普段では考えられないような経験を連続的に体験することができるので、機会があるようなら積極的に国際学会への参加をしてみたいかがでしょうか？準備等はとても大変だと思いますがぜひ挑戦してみてください。